

# 新たな形でのスポーツイベントの開催



## ～坂祝スポーツレクリエーションフェスティバル～

### はじめに

坂祝町は、加茂郡の西南、岐阜県の中南部に位置し(図表1)、東と北は美濃加茂市に、西は関市および各務原市に、南は木曽川を挟んで可児市および愛知県犬山市に接しています。東西4.9キロメートル、南北4.3キロメートル、面積12.87平方キロメートルの小さな町です。



図表1 坂祝町の位置

位置としても周りは全て市に囲まれて、岐阜市、名古屋市までも1時間かからないということで近年は転入者も増えています。現在の人口は8,211人(令和5年11月30日)で、2000年をピークに人口は減少しつつありますが、今のところ横ばいとなっています。

教育委員会は、こども課と教育課に分かれており、教育課では社会教育係、学校教育係の2つの係がそれぞれ町の教育行政を担っています。

その社会教育係において、町の生涯スポーツ発展につながるイベント、仕組みづくりなどを考えています。

特にスポーツに関しては個人の志向の変化、少子高齢化など様々な状況の変化があり、過去のイベントがその

ままでは成り立たなくなる恐れがあるなど、課題が多くある状況です。

## 1. 自治会主体の体育行事から生涯スポーツイベントへ

### (1) 町民運動会(昭和46年～平成16年)

坂祝町における一番大きな体育行事として、秋の町民運動会がありました。しかし、令和2年度から始まったコロナ禍において運動会の開催は中止を余儀なくされました。

町民運動会は昭和46年に行政の行事として、第1回町民運動会が開催されました。それ以前も運動会は実施されていましたが、自治会対抗種目が主で勝敗を競うことが過熱したことから中断していました。新しく実施された町民運動会では保育園児から高齢者まで、レクリエーションや競技を通じて地域や年代を越えた町民相互の融和と親睦を図ることを目的として企画され、住民としては一つのお祭りとしての位置付けでした。(図表2)



図表2 第1回町民運動会(当時の町広報誌)

## (2) 手作り町民運動会(平成17年～令和3年)

当初の開催にあたっては町職員が全員出勤し、業務として運動会の運営を行っていました。しかし、全国的な市町村合併問題で、当町においても様々な事業の近隣市町村との比較、見直しから、行政主催の町民運動会の在り方が問題となり、平成17年より、行政の行事ではなく、町民ボランティアの実行委員会主導による手作り町民運動会として開催されるようになりました。

手作り町民運動会は毎年10月第3日曜日に開催され、総勢約500名が参加する行事となっていました。

そういった歴史もある運動会でしたが、種目の多くが自治会対抗ということもあり、選手集めの負担が自治会の役員に多くかかる状況となっていました。世帯構成の変化、自治会ごとの人数や年齢構成の違い、住民の志向の変化による参加者の減少など、各自治会からも開催に対して反対や変更の声も多く上がっていました。そこでコロナ禍にあった令和2年に自治会に対して運動会の開催についてのアンケートを行った結果、開催に対して反対の意見も多くあり、社会教育係にて協議した結果、令和3年度に町民運動会の開催は廃止し、誰もが参加できる新たなスポーツイベントを令和4年度より開催する方針となりました。

## 2. スポーツレクリエーションフェスティバルの開催

### (1) 坂祝町のスポーツ組織

坂祝町の教育委員会事務局は坂祝町中央公民館にあり、そこには総合運動場、スポーツドーム、屋外テニスコートが隣接しています。

また、坂祝町のスポーツ団体は、体育協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員会、坂祝スポーツクラブ(総合型地域スポーツクラブ)が主な団体としてあり、その他に坂祝中学校部活動を主体とした、休日の活動団体としての中学校クラブがあります。

これらの団体とは日頃から町教委が事務局となるなど、密接な関係があり、相互に協力し合う体制がありま

した。しかし、それぞれの団体で共通した課題として団体の減少、予算が少ないなどが挙げられていました。そういった団体の課題解消も社会教育係として解決に向けた方策を検討しなければいけない状況もありました。

### (2) 新たなスポーツイベントの開催

各スポーツ団体の課題の解決と、生涯に渡ってスポーツを楽しめるイベントという狙いで『坂祝スポーツレクリエーションフェスティバル』を開催する方針を決定しました。

このイベントは町内の各スポーツ団体がそれぞれの競技の体験を行うことができるブースを出展し、その体験をスタンプラリー形式で回るというもので企画しました。

目的として、スポーツを通して人や地域を結び、スポーツに対する町民の意欲の向上、自主的なスポーツ活動のさらなる推進、併せてスポーツを通じた地域力の向上を図る機会とすること、として、スポーツ推進委員、体育協会、スポーツ少年団、中学校クラブ、総合型地域スポーツクラブ並びに各種スポーツ団体等が連携し、最終的に「町民みんながスポーツに親しむ町」を目指すことを掲げました。そして、令和4年10月16日(日)の10時から13時に開催することを決めました。

### (3) スポーツレクリエーションフェスティバルの内容

開催にあたっては、各スポーツ団体に令和3年度中に、イベントの主旨の説明と参加依頼を行い、その後参加団体の参加希望を取りまとめ、実行委員会を順次行いました。

まず、開催場所は中央公民館及び、その周辺スポーツ施設とし、参加者は気軽に各競技の体験が順番にできるように一つの施設に集約させての開催としました。

次に、初めてのイベントということもあり、いかに多くの方に来場してもらい、楽しんでもらえるかを考えた結果、スポーツだけでなく、合わせて飲食や買い物も楽しめる、複合的なイベントとすることにしました。そこで、飲食については、町内のキッチンカー業者に協力を依頼し、また、町産業建設課主催の軽トラ朝市のスポーツレクリエーションフェスティバルとの同時開催も了承を得ることができました。キッチンカーと軽トラ朝市は場所の準備に手間がほとんどかからず、職員やボ





図表 6 パラスポーツ

参加団体には障害者スポーツの体験ができるブースもあり、そういった体験もできました。(図表 6)

参加者は次々にそういった体験コーナーを回っていき、用意した景品のクーポン券 200 枚は 1 時間ほどですぐになくなるなど、予想を超える来場者数でした。保護者なども含めて約 500 名の参加者となりました。



図表 7 卓球

図表 7 にありますように、参加者の小学生の子に対して中学生が教えたり、運営するなどして、多世代の交流も見られました。参加者の中にはおばあちゃんから孫まで 3 世代に渡っての参加もあり、世代を超えての行事にもなったかと思えます。

スポーツを初めてやるような小さな子どもから、久しぶりにスポーツをやるような方まで、様々な人たちにスポーツを楽しんでもらうことができ、皆さんからも好評



図表 8 キックターゲット

の声を多く頂き、新たなイベントとして成功に終わったかと思われま。出展頂いたスポーツ団体にも開催に対してのアンケートを取った結果、イベントとしてとても良かったと答えて頂くことができました。

好評だったことも受け、予算も令和4年度の 30 万円から令和5年度は 60 万円に倍増することができ、景品を増やし、参加団体への消耗品の購入もより多く補助することができました。

令和 5 年度の開催時は開催直前まで雨が降り、ぎりぎりまで雨が上がるという難しい状況での開催でしたが、各出展団体の協力もあり、令和5年度はさらに多くの方が来場し、約 800 名の参加となり、さらなる盛り上がりとなりました。

## おわりに

令和4年、5年のスポーツレクリエーションフェスティバル開催は、多くの方に参加頂き、成功に終わりました。しかし、今後もさらに発展させていくためには、一過性のイベントとならないように、日頃から各スポーツ団体と教育委員会事務局が連携を深めて、それぞれのスポーツ団体の維持、発展が不可欠かと思われま。

今回のイベントの成功を機に町内の各スポーツ団体を成長させ、より坂祝町の生涯スポーツ体制が発展できるように、今後も町民の生涯スポーツを支える教育委員会事務局として努力していきたいと思いま。